

官報  
號外

昭和五十八年三月十一日

○第九十八回  
國會衆議院會議錄 第十一號

昭和五十八年三月十一日(金曜日)

新和三十一年三月一日(金曜日)

正午 本會議

○本日の会議に付した案件  
議員辞職の件  
安井吉典君の故議員中川一郎君に対する追悼演説

（一君）議員横路孝弘君から  
ます。これにつきお詰りし  
辞表を朗読いたさせます。

○議長(福田一君) 議員横路孝弘君から辞表が提出されております。これにつきお詣りいたしたいと思います。  
まず、その辞表を朗読いたさせます。

[参事朗読]

辞職願

今般施行の北海道知事選挙立候補のため議員を辞職いたしたく御許可をお願いいたします  
昭和五十八年三月十日

衆議院議員 横路 孝弘  
○議長(福田一君) 採決いたします。  
横路孝弘君の辞職を許可するに御異議ありませ  
んか。

○議長(福田一君) 御異議なしと認めます。よひて、辞職を許可するに決しました。

○議長(福田一君) 御報告いたすことがあります。

議員中川一郎君は、去る一月九日逝去せられました。まことに哀悼痛惜の至りにたえません。

〔總員起立〕

昭和五十八年三月十一日 衆議院会議録第十一号

## の報告　故議員中川一郎君に対する追悼演説

三一五

衆議院は 多年憲政のために尽力し さきに運輸委員長の要職につき また再度國務大臣の重任にあつられた議員正三位歎一等中川一郎君の長逝を哀悼し つつしんで弔詞をささげます

へ入学することを許し、君はさらに宇都宮高等農林学校を経て九州大学農学部に進み、昭和二十二年、同大学を卒業されました。

故謹員中川一郎君に対する追悼演説  
○議長(福田一君) この際、弔意を表するため、  
安井吉典君から発言を求められております。これ  
を許します。安井吉典君。

スマートの信頼が厚く、休暇で帰郷したときは家業の農業を手伝う君の姿が見られました。当時、河上肇の「貧乏物語」が君の愛読書であったということであります。

〔安井吉興君登壇〕

卒業とともに北海道厅に入られた君は、戦後のわが国の食糧事情が極度に窮屈し、とりわけ省困をきわめていた開拓農家をよく訪れ、農民の声を聞き、励まし、農業の指導に当たられました。やがて、昭和二十五年、北海道開発局が新設さ

昨年秋に行われた自由民主党総裁選挙に、ニューリーダーの一人として立候補された君が、持ち前の情熱と旺盛な行動力をもって東奔西走されていましたことがわれわれの記憶にいまなお生き残っています。

しかるに、君のお姿をいまこの議場に見ることはできません。君の訃報を郷里の北海道の新聞は、「宰相」の期待空しく」と大きな横見出しで報じました。人の命のはかなさとは申せ、まことに痛恨のきわみであります。

ここに、私は、議員各位の御同意を得て、議員

君は選ばれて同席に入り、開発担当官、開発専門官を歴任され、二十九年には、本院議長であった当時の大野伴睦北海道開発局長官の秘書官、引き続き緒方竹虎開発局長官の秘書官につかれたのであります。

やがて、君は、自由民主党大野副総裁から、その敏腕と素質を見込まれ、みずからも政界入りを決意し、昭和三十四年、十二年余にわたった官界を辞し、副総裁の秘書になり、親しくその薰陶を受けられたわけであります。

君は、昭和三十八年十一月、第三十回衆議院議

一同を代表し、謹んで哀悼の言葉を申し述べたいと存じます。(拍手)

中川君は、大正十四年三月、北海道広尾郡広尾町で父文藏さん、母セイさんの十人きょうだいの長男として生まれました。君の生家は、祖父の代に日高山脈のふもと、十勝平野に入植をした開拓農家でありました。

北国の厳しい自然と闘う開拓農家の生活環境は

員総選挙が行われるや、北海道第五区から勇躍立候補し、道東地方の後進性を脱皮させ、明るく尊かな郷土をつくり上げることを強く訴え、選挙民の絶大な信頼と力強い支援により、みごと初当選の栄冠をかち取られたのであります。（拍手）大野副総裁のまな弟子に対する肩入れと応援ぶりは、当時の政界の話題をさらったものであります。本院に議席を得られてからは、議運、農林水

苦しく、君は小学三年のころから家事を手伝い、家畜の世話を烟仕事に従事され、君の右のはおの傷は当時馬にけられた跡であり、父文蔵さんは、「仕事は早く片づける、暗くなつて働くのは怠け者だ」と、子供のしつけは厳しかつたといふことあります。

君の御両親は、苦しい生計の中から、幼少より明利発であった君の希望を入れ、十勝農業学校

産、運輸等各委員会を舞台に、議院の運営に、また各般にわたる国政の審議に、卓越した識見とすぐれた行動力、手腕を駆使して、縦横の活躍をなさいました。

とりわけ、君の農民の苦悩を肌で感じ味わった経験と鋭敏な時代感覚で、日本農業を国際的な流れの中でとらえた高い識見は、農政の分野で大多大の功績を残されたのであります。今日、日本農業





キロリットル当たり六千円も下がつたにもかかわらず、わずか千五百円しか値下げせず、利益をため込んでいる。

このように、原油値下がりと円高による利益を一貫して還元しないどころか、逆に値上げを押し付けようとしてきた大手石油会社の姿勢は極めて重大である。原油の大大幅下げがなされようとしている現在、政府は、元売り各社に対しても、製品価格引き下げの行政指導を強力に行うべきである。

政府の対応を伺いたい。

右質問する。

内閣衆質九八第七号  
昭和五十八年三月八日

内閣総理大臣 中曾根康弘

衆議院議長 福田 一殿

衆議院議員岩佐恵美君提出原油値下げに伴う電力・ガス料金及び石油製品価格の引き下げに関する質問に対し、別紙答弁書を送付する。

〔別紙〕

衆議院議員岩佐恵美君提出原油値下げに伴う電力・ガス料金及び石油製品価格の引き下げに関する質問に対する答弁書

一及び二について 原油価格が引き下げられた場合の電気・ガス

料金の取扱いについては、原油価格が引き下げられたとしても、その状況がどの程度の期間継続するかも含め、それが電気・ガス事業者の原燃料費にどのように影響するかについて十分見極めるとともに、電気・ガス事業者の原燃料費以外のコストの上昇、さらには、為替レートの動向等の不確定要因も存在すること等を勘案しつつ、電気・ガス事業者の経理状況の将来見通しの上に立つて、今後慎重に判断していくべきであると考える。

三について

石油製品価格は、市場メカニズムを通じて形成されること基本であり、コストの変動は、需給状況等を背景とした当事者間の交渉等によ

り価格に反映されていくものと考える。  
右答弁する。

(答弁通知書受領)

一、去る八日、内閣から、衆議院議員竹内猛君提出茨城県土浦市における高架街路建設に関する質問に対し、質問事項について検討する必要があり、これに日時を要するため、昭和五十八年三月十六日までに答弁する旨の国会法第七十一条第二項後段の規定による通知書を受領した。

衆議院会議録第九号中正誤	
ペジ	段行誤
一四	一一
一九	三末
E 3 4 4	F 3 4 4
就任	正